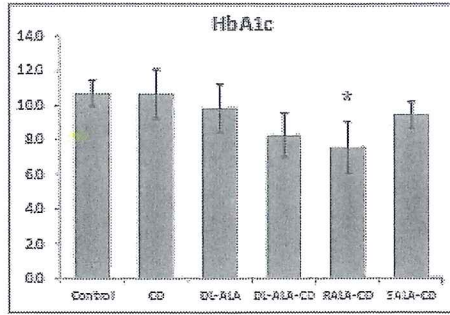


αリポ酸

体内糖化の低減作用を確認

シクロケム

多機能性の食物繊維シクロデキストリン(シクロD)を取り扱うシクロケム(東京都中央区、03-5614-7147)は、抗糖化素材としてR-αリポ酸をシクロデキストリン(γCD)によって包接した「R-αリポ酸γCD包接体」を提案している。



R-αリポ酸γCD包接体には、血中ヘモグロビンA1c (HbA1c)を低減する作用が確認されている。HbA1cの値は、糖尿病の診

断に用いられているもので、血中のヘモグロビンがブドウ糖と結合してできたもの。

ブドウ糖を過剰に摂取すると高血糖状態が長期間続くことになり、その余分なブドウ糖が体内のタンパク質と結合することで「糖化」を引き起こしてしまう。

糖尿病モデルマウスによる試験で、R-αリポ酸γCD包接体がコントロール群と比較して有意にHbA1cを低下させることが確認された。【図参照】

さらに非天然のS体や、市場で現在広く用いられているS体を含むラセミ体のαリポ酸CD包

接体との比較では、S体やラセミ体よりもR体CD包接体の効果が大きいことが確認された。

当社によると、S体とR体では安全面に関しても差があるという。S体は生体内でタンパク質と凝集体を形成するなどの影響もあり、糖尿病誘発マウスの死亡率が上昇する、ペットサプリを摂取

した犬や猫が死亡したなどの報告も過去にあったという。こうした背景から、当社ではR体への提案を強化していく方針だ。

これまで不安定性から製品化が困難とされてきた天然のR体だが、γシクロデキストリン(γCD)により包接することで利用能が改善され、製品化が可能となっている。